

中沢の棚田 周辺マップ



背炙り峠とは？

尾花沢市延沢の住民が、商業で栄えていた村山市楯岡まで、出稼ぎや買い出しなどで通る道として使われた。楯岡から見て北東方向にある延沢を夜明け前に出発した住民が峠に差し掛かると朝日を背中に浴び、用事を済ませ帰る時には夕日を背中に浴びることから背炙り峠と言われるようになった。

やまがたの
棚田 20 選

な か ざ わ

中沢の棚田 (村山市たも山)



棚田を守り集落を元気に

村山市北部、甕岳（こしきだけ）の麓にある中沢集落は、のどかで美しい農村風景が残る農業を中心とした地域である。

中沢集落では、集落住民の高齢化が進み、耕作放棄が懸念される中、集落の有志により結成された「中沢棚田保全会田んぼボーイズ」が棚田の保全活動を行うと共に、有機栽培による棚田米「背炙りの詩（せあぶりのうた）」を東京浅草寺にて出張販売している。県内では中沢集落のイベント時や、道の駅むらやまで販売を行っている。「中沢の棚田を多くの人に知ってもらいたい」という熱い気持ちを胸に、PR活動を行っている。

昨年、集落内に直売所をオープンし、直売所におけるイベントを催している。また、秋には「原木なめこ祭り」を開催するなど、都市住民との交流を図っている。

集落の人々は中沢を愛し、棚田や豊かな自然環境を宝とし、次世代へ伝え、守っていききたいと活動を続けている。